

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 15 日

事業所名 こどもプラス豊見城教室別館

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	3	0	2階と3階、2グループに分けて活動を行ったり、子ども達によって活動内容を工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	5	3	2	様々な職種の職員を配置している	基準人員は満たしているが、職員の手が足りない時間等があるので、送迎等を工夫していこうと思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	8	1	飛び出し防止や緩衝材を設置している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3	0	ミーティングを毎日行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	2	0	毎年行い、改善のミーティングを行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	0	毎年行っている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	0	1	年3回、本部の方に来所していただいて、評価していただいている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	0	毎月1人4回検証の時間を設けている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	0	担当を決め、全体で周知、反省を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	0	運動遊びや園外活動などなるべく違う事をするようにしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	5	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1	0	星礼・終礼で時間を作るようにしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	0	終礼また参加出来ない職員には共有ノートに記録して共有出来るようにしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1	0	チェック担当を配置し、日々行っている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0	0	モニタリングを行った後に、終礼などで共有・改善点の話し合いを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	6	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	0	児発管が参加し、職員全体への共有も行っている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1	0	各月毎に利用予定をいただいている	担任の先生と密に連絡がとれるよう信頼関係、情報共有をこちらから積極的に行うようにする
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当児なし	今後受け入れる際は、体制を整えようと思う
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3	1	関係性が出来ている園や他事業所とは密に行っている	全利用者ではないので、全利用者出来るように利用開始時から情報共有をこちらから発信していこうと思う
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	2	0	移行の際は様子等を共有している	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	6	2	希望者がいれば、受講している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	7		コロナ禍が落ち着いたきたら、交流が持てるようなイベントを企画したいと思う
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5	5		機会があれば参加してみようと思う
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	0	LINEや電話、送迎時など聞き取りを行い共通理解を行っている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	2	1	困り感や相談支援等を行っている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	3	0	契約時や体験・見学時に説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	0	相談があれば、迅速に対応している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	5	コロナ禍以前は行っていたが今は出来ない	今後、開催予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	迅速に対応している	苦情が出ないよう、丁寧な対応を職員一同で心掛けている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	0	毎月、お便りを保護者へ配信し、伝えている	
	35	個人情報に十分注意している	9	1	0	丁寧に対応を心掛けている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	0	細めに連絡や様子をうかがうようにしている	電話(会話)が難しい保護者へはLINEでやりとりしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	7	一般に向けての運動教室体験会を行っている	運動以外の交流イベントも検討しています

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	4	0	ファイリングして保存している	新入職員にも周知・確認出来るよう、確認する時間も設定します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	0	年2回は行っています	必要であれば、回数を増やして行います
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0	研修があれば、参加しています	事業所でも虐待が疑われる児童がいた場合などの対応を周知、徹底している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	2	1	保護者へ確認している	計画に記載までは行っていないので、今後必要な児童は記載いたします
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	6	1	現在アレルギー対象児が居ません	今後、開催予定。入所した際は対応いたします
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	0	毎月1回行っています	振り返り、対応、改善を徹底しています